

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 分子薬理学
(氏名) 藤田 亮介 (職名) 助教

【研究テーマ】

1. 神経細胞死抑制効果を示す蛋白質の発見と脳卒中治療への応用に関する研究
2. 慢性疼痛における記憶（可塑性）機構の分子神経科学的研究
3. 神経極性とシナプス形態を調節する神経ステロイドとストレス性精神神経疾患に関する研究
4. ストレス性神経疾患を保護する内因性神経保護物質の探索に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Fujita R, Ma Y, UEDA H: Lysophosphatidic acid-induced membrane ruffling and BDNF gene expression are mediated by ATP release in primary microglia. *J of Neurochemistry* 107(1): 152-160, 2008 (IF: 4.451)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 藤田亮介、植田弘師：細胞死モードスイッチ機構を介した新規神経保護分子プロサイモシンアルファの発見、第81回日本薬理学会、2008年3月、横浜
2. 米窪沙織、藤田亮介、植田弘師：虚血脳に対するプロサイモシンアルファの脳保護効果、第81回日本薬理学会、2008年3月、横浜
3. 藤田亮介、高濱和弘、水間広、和田康弘、渡辺恭良、植田弘師：プロサイモシン・アルファによる PKC β を介した虚血神経ネクロシス抑制と PET 解析、第114回日本薬理学会近畿部会、2008年11月、神戸
4. 藤田亮介、水間広、和田康弘、渡辺恭良、植田弘師：PET 解析を用いた Prothymosin α による PKC β 活性化を介したグルコース取込み促進：BMB2008（第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会）、2008年12月、神戸
5. 藤村一輝、畠山有理、藤田亮介、植田弘師：神経細胞における Prothymosin α による PKC β を介した GLUT4 膜移行促進機構の解明：BMB2008（第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会）、2008年12月、神戸
6. 植村朋香、藤田亮介、植田弘師：Prothymosin α による PKC β を介した初代培養マイクログリアの活性化：BMB2008（第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会）、2008年12月、神戸
7. 山崎達朗、藤田亮介、植田弘師：新規脳保護分子 Prothymosin α によるラット一過性脳卒中傷害の改善：BMB2008（第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会）、2008年12月、神戸
8. 米窪沙織、藤田亮介、植田弘師：Prothymosin α による虚血依存的なマイクログリア活性化：BMB2008（第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会）、2008年12月、神戸
9. 神崎めぐみ、高濱和弘、藤田亮介、植田弘師：脳卒中治療薬としての Prothymosin α

の可能性: BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会・第 81 回日本生化学会大会 合同大会)、2008 年 12 月、神戸

【研究費取得状況】

1. 海洋微生物ライブラリー由来の神経性ネクロシス抑制活性を有する低分子物質の探索: 若手研究 B

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	21 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	1 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		